

特別講演 2

「貧血の鑑別と診断、そして治療 ～新たな静注鉄剤を含めて～」

富山大学学術研究部医学系 血液内科教授

佐藤 勉 先生

大学病院で長く血液内科の外来を務めておりますと、実地医家の諸兄からご相談を頂くことが多い内容のひとつに貧血があります。貧血は、大球性、正球性、そして小球性に大別され、さらに鉄欠乏性貧血、溶血性貧血、再生不良性貧血や骨髄異形成症候群などなど、様々な病型に分類されます。その考え方をわかりやすくおさらいしたいと思います。また、どこまでを自院で解決し、どこからは血液内科へ依頼すべきでしょうか。そのような指標を具体例を交えて明確にお示しする予定です。最後に、静注鉄剤の新薬が登場しました。これが鉄欠乏性貧血の外来治療を大きく変える可能性があります。その使用経験などもご紹介させていただきます。多くの諸兄にご参加賜れたらと思っています。